

一粒会委員総会

3年ぶりの開催



5月15日、13時半より布池文化センター・コンコルディアホールにて名古屋教区一粒会委員総会が開催された。松浦司教をお迎えし、指導司祭の平田豊彦神父と、小教区委員全50名のうち31名の出席で行われた。新型コロナウイルス感染症がまだ収束していないこの時期としては、意外にも多くの出席があったと思う。やはり遠方の人、北陸地区の委員は県をまたぐ旅程に少なからずの心配があるのだろう、出席の大半を東海地区の委員が占めた。

コロナ感染防止対策として、検温、手指の消毒、窓を開ける、席が密にならない、などを準備、工夫しての開催であった。2年間の中止となった総会が、ようやく開催できたことへの感慨もひとしおだが、昨年、今年の新委員にとっては初めての総会を経験することとなり、一粒会への関心が高まっていった。

司教からのあいさつの中で、小教区委員の日頃の活動に対しねぎらいの言葉をいいただき、活動報告、会計報告、活動予定と進み、小教区委員の役割についても再確認してもらった。簡単ではあったが委員の自己紹介を行い、またブロックごとの分かち合いの時間も組み入れた。

一粒会は、昨年度から新たな企画「一粒会だより」も増え、今年10月頃に第3号を配布すべく、編集委員会も稼働し始めるところである。

委員は各小教区においては、献金の記帳や入金事務を担い、地道な任務ではあるが、彼らの努力もあり献金も順調に伸びている。そして、教区全体に対しては集いなどの行事で広く召命を呼び掛けている。2人目、3人目の神学生が芽吹くことを委員全員が希望し祈っている。

このままコロナ禍が少しづつでも収束に向かっていると、今年度の計画が予定通りに実施できることを願うばかりである。

(一粒会委員長 西村由美子)

召命の祈りで始まり、司教からのあいさつの中、小教区委員の日頃の活動に対しねぎらいの言葉をいいただき、活動報告、会計報告、活動予定と進み、小教区委員の役割についても再確認してもらった。簡単ではあったが委員の自己紹介を行い、またブロックごとの分かち合いの時間も組み入れた。

一粒会は、昨年度から新たな企画「一粒会だより」も増え、今年10月頃に第3号を配布すべく、編集委員会も稼働し始めるところである。

委員は各小教区においては、献金の記帳や入金事務を担い、地道な任務ではあるが、彼らの努力もあり献金も順調に伸びている。そして、教区全体に対しては集いなどの行事で広く召命を呼び掛けている。2人目、3人目の神学生が芽吹くことを委員全員が希望し祈っている。

このままコロナ禍が少しづつでも収束に向かっていると、今年度の計画が予定通りに実施できることを願うばかりである。

(一粒会委員長 西村由美子)

新刊書紹介

「使徒言行録・世をいやす——教皇講話集」



2019年から2020年にかけて行われた、3題の連続講話。宣教活動の真の主旨は聖霊なのだと言った「使徒言行録」、キリスト者にとっての「身分証」を示す「真福八端」、そして、パンデミックによって深く傷ついた社会をいやすために何をなすべきかの導きである「世をいやす」。

原タイトル Catechesis on the Acts of the Apostles, the Beatitudes and Healing the World

著者 教皇フランシスコ

発行日 2022年5月23日 判型 A6 ページ数 224P

価格 本体価格 800円(税込880円)

ISBN 978-4-87750-236-2 ペトリ文庫

問合せ・ご注文は カトリック中央協議会出版部まで。

電話 03-5632-4429 FAX 03-5632-4456

全国のカトリック書店で取扱っています。

名古屋で12年ぶり

シスター浦田カズ代展



純心聖母会のシスター浦田カズ代展(旅ゆく家族)が、名古屋市中区のギャルリーくさで5月18日(23日まで)開かれた。名古屋では12年ぶりの発表となり大勢のファンが訪れた。後援はカリアタスジャパン。テーマは聖書物語、母子像やイメージ風景など。

また、賛助出品として、浦田さんの教え子で、口で描き続ける岡部彩さんの油彩「公園」など5点も展示されていた。

どの世界を描き続けている油彩「旅人たちの祈り」などの作品32点が展示されていた。

浦田さんは長崎県生まれ、愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了後、フランスで研修。カトリック熱田教会のステンドグラス、壁画などをデザインし、現在はカトリック美術協会会員、純心聖母会会員、東京純心大学前学長・教授を6年間歴任した。

日本カトリック平和旬間 北陸平和祈願ミサ

日時 8月11日(木・祝)

場所 カトリック福井教会 福井市宝永3-2-3

主式 松浦悟郎司教、北陸ブロック福井地区司祭団

問合せ 名古屋教区宣教科司牧評議会 事務局 早川和彦助祭

名古屋教区一粒会の集い《北陸地区》 講演会と司教ミサ

日時 8月28日(日) 受付13:30~16:30(終了予定)

場所 富山教会 富山市山王町5-10 TEL 076-421-3508

講演 窪口松雄神父(石川地区共同司牧チーム)

ミサ 松浦司教、北陸ブロック司祭団

主催 名古屋教区一粒会

問合せ 西村由美子 TEL 0561-54-9754

第14回 平和祈念の集い

テーマ「日本は正義と平和実現のために 主導的役割を担うことは出来るのか」

講師 佐々木博神父(仙台教区司祭 正義と平和仙台協議会担当司祭)

プログラム

講話 佐々木博神父
平和の歌、被爆者 広島の声を開く
共同祈願、平和を求める祈り

日時 8月7日(日) 13:00~14:45(開場12:30)

場所 カトリック南山教会大聖堂 名古屋市昭和区南山町1

交通 地下鉄鶴舞線いりなか駅下車、徒歩5分

主催 南山教会信徒・名古屋友の会会員有志、ピース9の会

問合せ ☎080-3066-3433(井爪光子)

(注)会場のコロナウイルス感染対策(検温、消毒、座席制限)に従いマスクを着用。状況により中止の場合有り。

2022年カトリック名古屋教区

平和の集いご案内

テーマ「ともに歩む・私たちに忘れないで」

日時 8月7日(日) 13:30~16:30

会場 名古屋カテドラル布池教会 名古屋市中区葵1丁目12-23

プログラム

第1部 「ともに歩むために」13:30~
アフガニスタン・スリランカ・ミャンマーからの報告(母国がどのようになっているか名古屋在住の方々の報告)

第2部 平和祈願ミサ 15:00~

ミサ司式 松浦悟郎司教

連絡 ・第1部、第2部とも大聖堂で行います。

・ただし、コロナの感染状況をふまえて入場者を240人までとする。ご了承ください。

・手話通訳、要約筆記は有ります。

・駐車場はありません。公共交通機関をご利用の上、お越しください。

問合せ 名古屋教区社会福音化推進部 福信館

☎052-935-7180



美濃・尾張キリシタン巡礼マップ

カトリック名古屋教区 可児市塩、笠松)が完成。教区内に配布された。多くの希望を受けて、名古屋教区巡礼マップを制作した。

本来ならば、教区全体を射程に入れた巡礼マップが理想的でしたが、まずは一日の小規模の旅のバスツアーや個人、少人数でも巡礼できる地図を作成した。今回は笠松、一宮、江南、扶桑、犬山、可児市塩、名古屋市の栄国寺の殉教地やキリシタン史跡を巡って、殉教の実態を知り、殉教者のために祈ることを目的としている。

モデルコースの出発地は名古屋教区一宮教会とし、解散は笠松とする。無理のない行程で巡礼できるようなっている。ぜひ活用頂きたい。

美濃・尾張キリシタン巡礼マップを配布

カトリック名古屋教区 可児市塩、笠松)が完成。教区内に配布された。多くの希望を受けて、名古屋教区巡礼マップを制作した。

本来ならば、教区全体を射程に入れた巡礼マップが理想的でしたが、まずは一日の小規模の旅のバスツアーや個人、少人数でも巡礼できる地図を作成した。今回は笠松、一宮、江南、扶桑、犬山、可児市塩、名古屋市の栄国寺の殉教地やキリシタン史跡を巡って、殉教の実態を知り、殉教者のために祈ることを目的としている。

モデルコースの出発地は名古屋教区一宮教会とし、解散は笠松とする。無理のない行程で巡礼できるようなっている。ぜひ活用頂きたい。